

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり1.62人と増加しています。7月以降、増加傾向で推移しており、この時期のインフルエンザ報告数としては多い状況が続いています。

また、夏休み後、新型インフルエンザによるとみられる休校等が多発しており、12件報告されています(9月8日現在)。

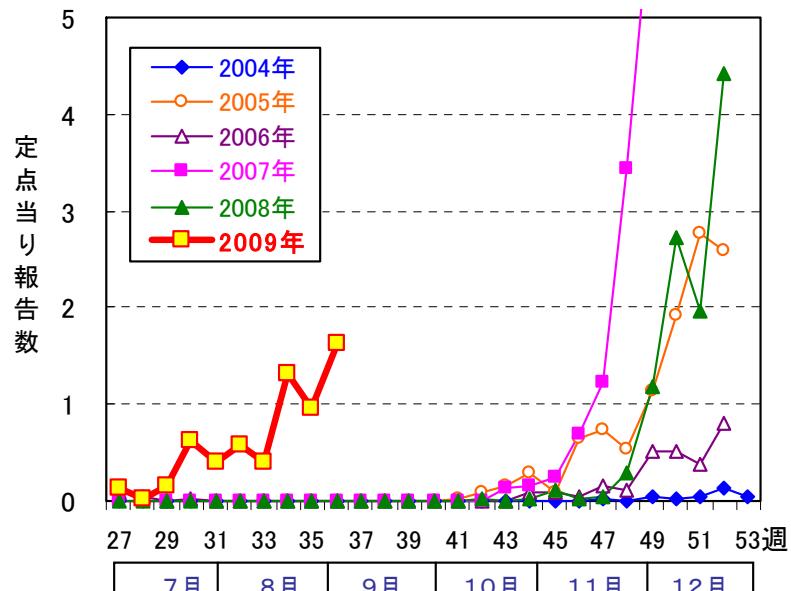
2. 腸管出血性大腸菌感染症

6件報告され、今年の累計は31件となっています(9月6日現在)。例年より多いペースで報告されており、特に8月の後半から多発していますので注意が必要です。

3. 後天性免疫不全症候群

1件報告され、今年の累計は18件(エイズ4件、HIV感染者14件)となり、昨年の年間報告数と同数になりました(9月6日現在)。

インフルエンザ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定點 当り	平 過 均 去 ～ 5 注 年 間	発 生 記 号	疾患名	報告数	定點 当り	平 過 均 去 ～ 5 注 年 間	発 生 記 号
インフルエンザ	60	1.62	-	↑	ヘルパンギーナ	58	2.42	0.59	△
咽頭結膜熱	3	0.13	0.33		流行性耳下腺炎	25	1.04	0.50	□
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.25	0.67		RSウイルス感染症	-	-	0.04	
感染性胃腸炎	86	3.58	4.29	↑	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	12	0.50	0.65		流行性角結膜炎	13	1.63	1.60	
手足口病	10	0.42	0.50		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	5	0.21	0.17		無菌性髄膜炎	-	-	0.14	
突発性発しん	18	0.75	1.02		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23	
百日咳	10	0.42	0.05		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少數の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況(新型インフルエンザを除く)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2 結核		3	144	男性(60歳代)・2人、男性(80歳代)・1人
3 腸管出血性大腸菌感染症		6	31	男性(10歳未満)・O157・3人、女性(20歳代)・O157・3人
5 アメーバ赤痢		1	6	男性(70歳代)
5 後天性免疫不全症候群		1	18	男性(10歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	A群溶血性咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーク	流行性耳下腺炎	RSVウイルス	急性感染症	流行性角結膜炎	細菌性角結膜炎	無菌性角結膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎			
報告数	広島市	第32週	22	5	12	83	10	25	3	21	4	101	29	5	-	6	1	-	2	-	
		第33週	15	4	18	55	18	25	1	17	3	95	17	1	-	6	2	4	2	-	
		第34週	49	5	6	76	15	21	3	19	5	76	39	-	-	12	-	1	1	-	
		第35週	35	6	12	73	9	13	2	17	2	69	22	-	-	2	1	-	2	-	
		第36週	60	3	6	86	12	10	5	18	10	58	25	-	-	13	-	-	1	-	
定点当り	広島市	第32週	0.59	0.21	0.50	3.46	0.42	1.04	0.13	0.88	0.17	4.21	1.21	0.21	-	0.86	0.14	-	0.29	-	
		第33週	0.41	0.17	0.75	2.29	0.75	1.04	0.04	0.71	0.13	3.96	0.71	0.04	-	0.75	0.29	0.57	0.29	-	
		第34週	1.32	0.21	0.25	3.17	0.63	0.88	0.13	0.79	0.21	3.17	1.63	-	-	1.50	-	0.14	0.14	-	
		第35週	0.95	0.25	0.50	3.04	0.38	0.54	0.08	0.71	0.08	2.88	0.92	-	-	0.25	0.14	-	0.29	-	
		第36週	1.62	0.13	0.25	3.58	0.50	0.42	0.21	0.75	0.42	2.42	1.04	-	-	1.63	-	-	0.14	-	
		全国	第34週	2.47	0.19	0.52	2.97	0.56	1.29	0.10	0.70	0.03	1.58	0.81	0.10	0.01	0.68	0.02	0.03	0.33	0.03
			第35週	2.52	0.17	0.56	2.73	0.42	1.13	0.09	0.70	0.03	1.44	0.72	0.11	0.02	0.53	0.02	0.03	0.31	0.01

■新たに判明した病原体検出状況 (新型インフルエンザの検査結果は下表のとおり)

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/07/23	髄液 粪便	コクサッキーウイルスA9型
その他の神経系疾患(キランバレー症候群)	7	男	2009/07/19	糞便	エコーウィルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

第36週

サーベイランスの種類	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	合計
病原体サーベイランス	2	3		1					6
クラスターサーベイランス									0
入院サーベイランス									0
合計	2	3	0	1	0	0	0	0	6

2009年累計(7月24日以降)

サーベイランスの種類	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	合計
病原体サーベイランス	4	19	4	1				1	29
クラスターサーベイランス	4	4	3						11
入院サーベイランス		2		1					3
合計	8	25	7	2	0	0	0	1	43

- すべて広島市衛生研究所のPCR検査による確定例です。
- 病原体サーベイランスは、病原体定点において原則ランダムにインフルエンザ様疾患の患者の検体を検査するものです。
- クラスターサーベイランスは、新型インフルエンザの集団発生を早期に把握する目的で、その集団内の患者の検体を検査するものです。
- 入院サーベイランスは、新型インフルエンザによる重症者の発生動向を把握するなどの目的で、入院患者の検体を検査するものです。
- 病原体サーベイランスやクラスターサーベイランスの患者で入院した場合は、入院サーベイランスに計上します。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp